

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	西宮すなご医療福祉センターさくらんぼ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年11月12日		～ 2024年12月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2024年12月10日		～ 2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一か所の学校からのみの受け入れとなっています。(長期休暇中は他の学校からも受け入れています)	学年での違いはありますが、到着時間がほぼ同じなためみんな揃って療育を始めることができます。	学校からの情報を密に取り入れ、できることやできるようになりたいことを知り、計画に落とし込み充実した放課後を過ごせるように取り組んでいます。
2	医療福祉センターの機能として、外来やリハビリ、相談支援、訪問看護・ヘルパーステーションなどが充実しており、必要な事業を受けることができます。	療育中に体調の変化があればすぐに医師の診察を受けることができます。また、リハビリや訪問看護との情報共有もでき、一人の利用児に対し、様々な角度からの視点でとらえることができます。	これからも関連事業としっかり連携、情報共有し、必要なことは計画に落とし込めるようにしていきます。
3	重症児者入所施設支援に長年携わってきた看護・生活支援・リハビリ職員が療育に入っています。	体調や、ポジショニング等介護にあたり、重症児者の特性を理解して関わることができています。	左記の支援をしっかりと行っていくとともに、OT職員からのアドバイスを受けて職員のスキルアップにつなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一か所の学校からのみの受け入れとなっています。(長期休暇中は他の学校からも受け入れています)	支援学校に広報をしていますが利用児が増えていきません。	今後は他の支援学校の方にも来ていただけるように広報します。また、送迎や職員の配置を検討していきます。
2	重症児者入所施設支援に長年携わってきた生活支援職員が療育に入っています。	入所部門での経験が長く、成人した利用者の援助には長けているが、発達段階の支援のための療育や援助のスキルが低い部分があります。	発達支援についての外部研修や学習会を行い、スキルアップにつなげていきます。
3	人員基準を満たしているものの、相対的に職員が少ない。	重症心身障害を持つ利用児は自力で動けなかったり、意思表示が難しかったりします。また、医療ケアが高く、少人数であってもほぼマンツーマンで職員がつかないと活動ができない状況にあります。	生活介護との職員の協力体制により療育支援に支障がないように取り組んでいます。